

適性期

佐波サトル

いずみ
コミック
HALF

適性期

佐波サトル

いずみ
コミック
HALF

「かも」。

う…うう…ッ

もう限界なんだ？

まだ挿れて
十秒ほどだよー

だって…
エミちゃんの中が
凄すぎてさ…

あはは
出しすぎー

あはは
出しすぎー

これじゃ2回戦は
無理かな

あ…つぐ…う

ほんと男って
らくしよー



ちよつと腰振って
やるだけで
こんな楽に
稼げちゃうなんてね

またりピーターが
こんな

そんなに
私の身体が
欲しいんだ

どんな大人も
ペツドリや私に
かなわないのね

このままじゃ
すぐに大金持ちに
なれちゃいぞ

あの…



エミさん…ですか

今日はよろしく…
お願いします

あー…

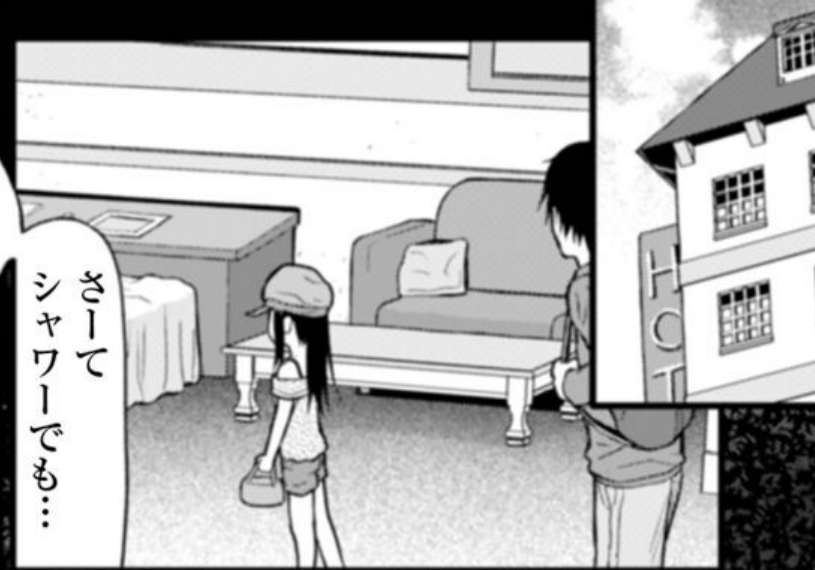
もう約束の
時間だっけ？

んー…
なんか童貞くさいし
こいつも舌ヨロそうね

エミのちっちゃな
おまんこで
搾りつくして
あげる♥

まあ覚悟しときなさい

なあに？
こんな年下に
敬語使ったりして
緊張してる？



エミさんが僕と
仲良くなるための
準備です

ひ…うっ!!
え…なに…
それ…っ

え…ちよつと
触られただけで
こんな…痺れ…

なに…塗って…



え…

ちゃんと準備したから
大丈夫ですし

そ…そんな…
大きいの…入れ…



あ…や…

おエミさんみたいな娘を
随とすのは慣れてるので

僕ならいくらでも
ハメてあげますよ

うわっ
セツクス…こんな
…きもち…♡

まだまだ
序の口ですよ

この反応…
イクの初めてですか

今までの男だったら
もう限界まで
射精してる頃なのに...



キョウ...

キョウ...

キョウ...

これ...

なんで♥...こんな
硬くて...
おっきくて...♥



ガッ
ガッ
ガッ

ガッ
ガッ

ガッ
ガッ...



やだ...あ
おかひ...♥なりゆ...っ

キョウ...

キョウ...





ん…

は…



なんで……あ…

は…



エミさんが
ウチのグループの
お得意さんを奪うんで
困ってたんです

ふ……あ……？



これだけの具合なら
売り物になりますね

シマを荒らした分
これからウチで
お客をとってください



こちらがいいと言うまで
働いてもらいますね

え……なに…

は…



いや…無理…
そんなの…

いやなら仕様が
ないです



え…
や…助け…

やああ

おりおり…

承諾してくれるよう
寝けますね

ここはうちの
ホテルだから
誰も来ませんよ

まじか

念入りに
どんな男にも
逆らえない身体に
しますので

っ…ゆる…して…
ください…

しゅわん
しゅわん
しゅわん

はっはっ

おん

はっはっ

おんおん





身体が...♥
作り...変られちゃ...

このチンポ...
強...すぎ...♥



終わっちゃおう……♡



おまんこに……っ
全身に負け癖……ついちゃう♡



も…男の人に…
勝て…ない…

わんわん

わんわん

わんわん

わんわん

わんわん

わんわん



これから挨拶に行かせます



はい…ウチでずっと働いてくれる
そうですよ




しばらくは
事務所のみっちり
研修させますよ


◇おわり◇



わたし……
お兄ちゃんと
結婚する……



従兄だから
結婚はできるけど
あと10年は
待たないとな



あら由美ちゃん
気が早いわね



ブレイブ



どう？
考えなしなこと言うと
こうなっちゃうんだよ



あ...っ



ちゃん...と
考えたもん...ッ

お兄ちゃん
お盆に...しか
戻ってこないから
いま言わなきゃって...



大人の俺の
女になるって
どういうことか
わかるの？

わ...わかってる
...もん...っ



ほ…ほら
ちゃんと…濡れるし

俺のこと
想って自分で
してたの？

きゅん
…っ



ふ…ん
……



ヒクッ…

だから…
何されても
大丈夫…と思う

いやらしい子は
好きだけどさ
何で由美ちゃんが
されるほうなの？

ヒクッ…



え…っ？



俺の彼女に
なりたいてっていうなら
由美ちゃんからしてよ

……っ
わ……わたしを
試してるの？



もう……子供じゃ

え……と……？
……ないからっ

すっ

それで？
どうするの

え…
えと…っ



へえ
あの小さかった
由美ちゃんがなあ

一生懸命に
チンポ頬張って…





このまま出してもいいけど... どうする？

ほら...もう入る...よ

半分も入ってないけど... ね

.....

クワッ

クワッ

クワッ

クワッ

クワッ

ん.....

ヒューッ



好きな相手なら
イけるはずだよ

俺のこと好きなら
一緒にイッてよ

え……っ

由美ちゃんさ

は……



まって……
ッ……ん……

……あ
えと……

カ
ニ……

カ
ニ……

カ
ニ……

カ
ニ……



イッつてくれなかったね

...ごめ...なご...

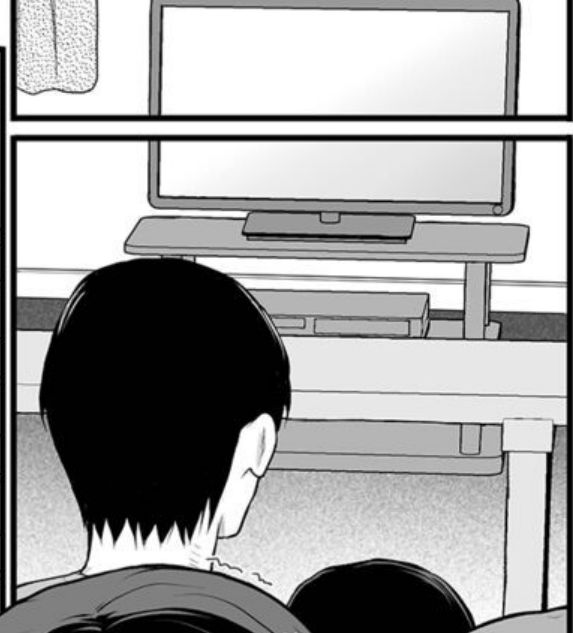
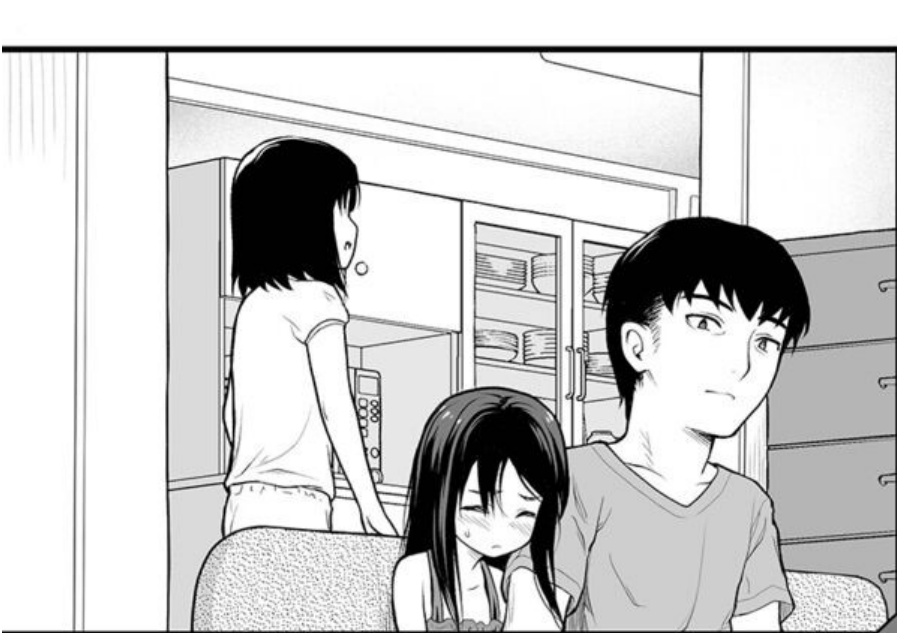


まあいよ

じゃあお試しで付き合ってみようか

え...
ほっ本当?...

みんなには秘密だよ





お兄ちゃんが
したいこと…
わたしなら…
全部…できるよ



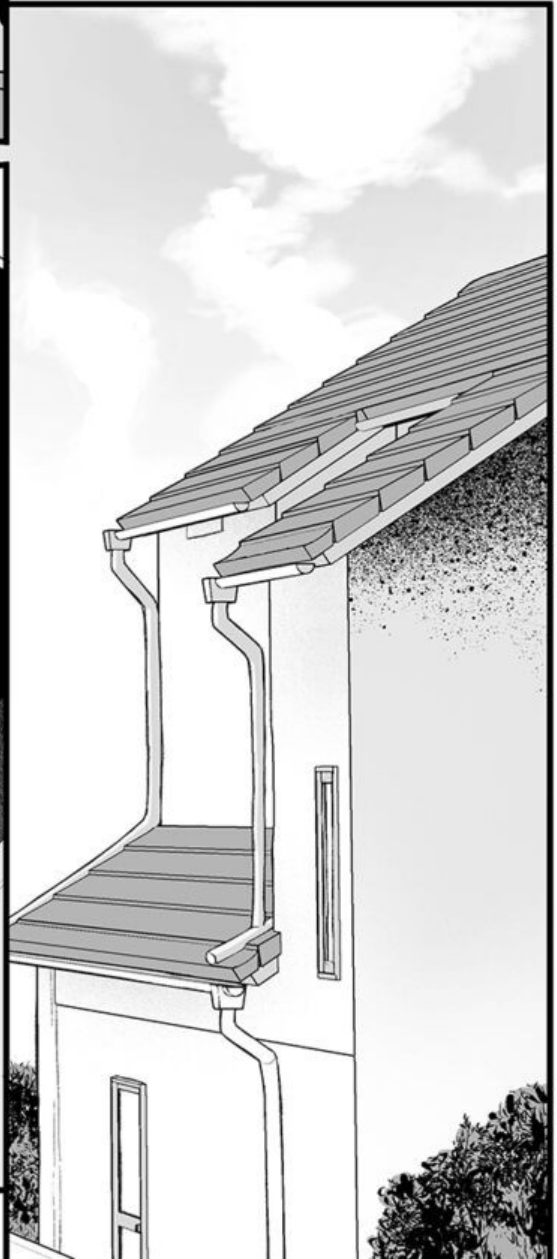
なあ
由美を見てないか



…ふーん
それなら…



いや
知らないな



由美ちゃんも
育ってきたしな

遊びたい
盛りなんだろ

は...う♡

♡あう...

シユ
レ

♡チヨ
ミ

チヨ
ミ

あの子も
なに考えてるか
わからなく
なってきたし...

馬鹿なこと
してなきやいいけど

俺のほうで
見ておくよ

シユ
レ

チヨ
ミ

チヨ
ミ

チヨ
ミ



頼むな

ああ



平に内内内...♡

ニギ...

ニギ...



うん...
そ...だね...っ



よし...入ったぞ...

わたしから...も
いつ...とく

由美ちゃんのお尻
最高だよ...



じゃ...来週...

え?...別に...なに...もっ



こんななの撮られたら
もう俺の
言いなりだよ?

お兄ちゃんの
言うことなら
聞けるもん...

じゃあ
二人の思い出
残そうか



うん...っ

ほら...しっかり
カメラ見て



ゆ...由美が
初めてイクとこ...
撮っ...

ヒッ

ヒッ

ヒッ

ヒッ

ヒッ

ヒッ

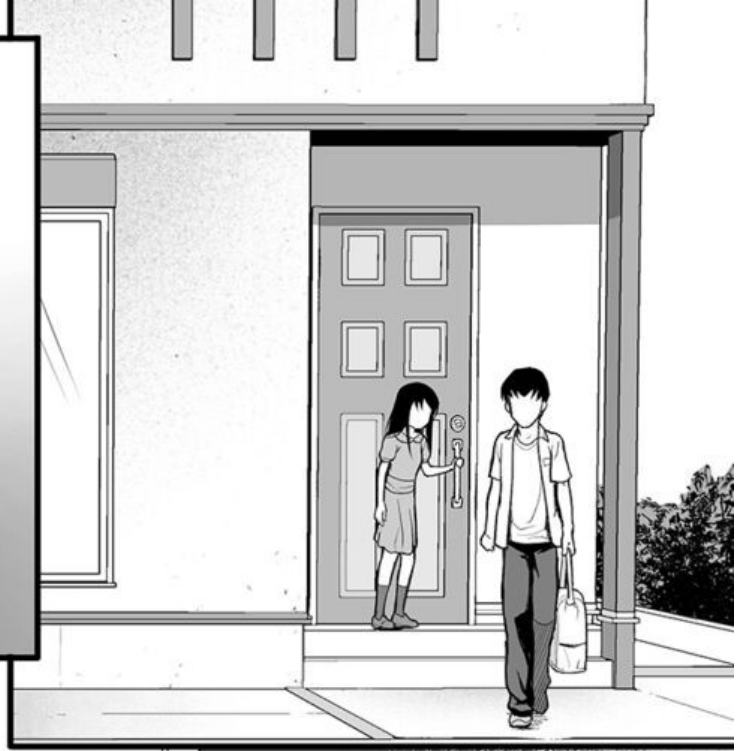
ヒッ

ヒッ





それで……
どう…なの？



来年も
由美ちゃん
の気持ち
が
変わらな
かったら
本気で
躡けて
あげる

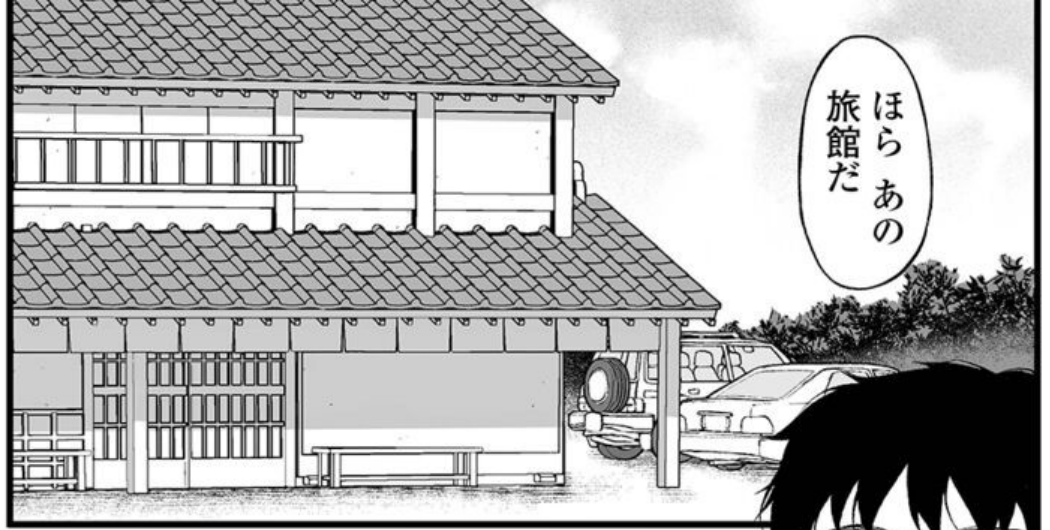
わたしが
お兄ちゃん
好みの
エッチな
子になっ
てくの
見ててね



わたし…毎日
動画送る

◇おわり◇

温泉



ほらあの
旅館だ



いらっしやいませ

お父さんと
二人で来たの？

仲がいいのね

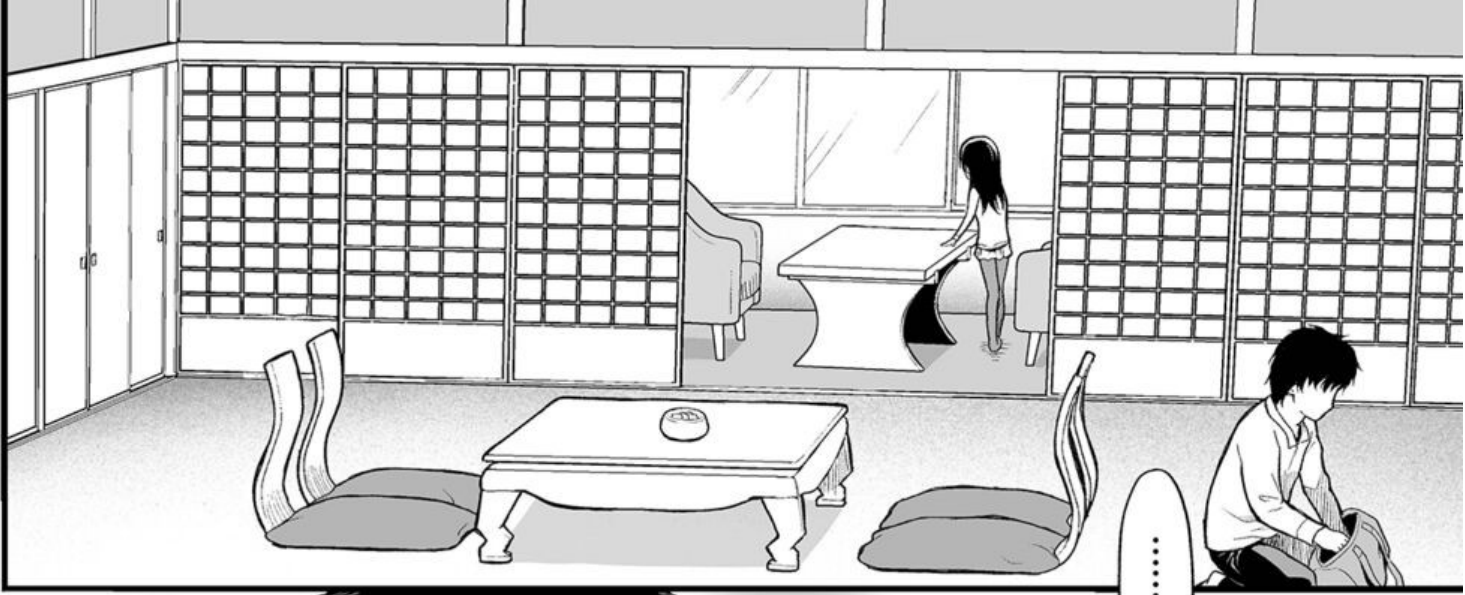


うん…

パパと初めての
旅行なの…



一週間
お世話になります



……本当に
二人つきり……なんだ



いつもママが
いるからね……

なんか……
変な感じだな



あっ……





……
キス以外にも……
するの？



ああ……ここなら
ママの目を
気にしなくて
いいからな

今まで奈美に
したかったこと……
ようやく……
全部するぞ

キス……

ん……



先にお風呂……

……





やっと…
人目も時間も
気にせず…

好きなだけ…
愛しあえる



……奈美っ

ちよ…ちよっと



もう…なに
慌てるのよ…



な...なあ
口でしてくれないか

え...



ママはして
くれなかったから...
奈美にしてほしいんだ

...まあ
いいけど

わたしも
してみたかったし...



これが…フェラチオ…

おお…っ
ようやく…
念願の…っ



ああ…っ
奈美は上手だね



ほんと…？

じゃあ…わたしも
家じゃしなかったこと
するね…



ちゅっ♡



もつと…
大きくなったら
ちゃんと
挟めるんだけど…



もう…
たまらない…っ



く…っ
奈美はもう
一人前の女性だよ



ご...ごめん
まだ飲むのは
無理かな



...これから
いっぱい練習する



部屋に戻ったら
もっと熱くさせる
からな...



...なんか
おながか
熱いかも...





え...と

パパ...
よろしくお願ひします



ああ...
新婚の気分だよ

これで...いいの？



奈美が小さい頃から…
ずっとこう
したかったんだ

こうなるように
育ててきた
甲斐があった…



う…ん…っ

あ…
今日はまだ
無理かな…



無理じゃないよ…

…わたしも
パパのお嫁さんにな
れるようになって
想ってきたから…

うう…奈美…ッ

ドクドク
ドクドク

ドクドク

ドクドク

ドクドク

ドクドク

血がつながっていると…
カラダのつながりも
…最高だな

ああ…
狭さも弾力も…

ママと…大違いだ

ドクドク

ドクドク

ドクドク



ようやく…
奈美の…中に…

あ…あ…
う…う…



奈美が生まれて
きてくれて
よかった…

あ…あ…
う…う…

あ…あ…
う…う…



今までの時間を
取り戻そうな

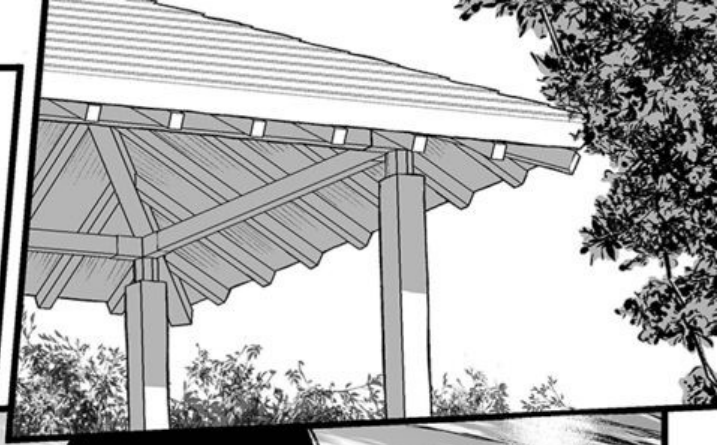
あ…あ…
う…う…

あ…あ…
う…う…

あ…あ…
う…う…

あ…あ…
う…う…









次はいつに
なるかな…

◆おわり◆



ありがとう
ございました



また
来ような

うん

わたしはいつも
優秀なお姉ちゃんと
比べられてきた

そんなある日
お姉ちゃんが
彼氏を連れてきた

とっても素敵な
人だった

何をしても
がっかりされる
ばかりで…

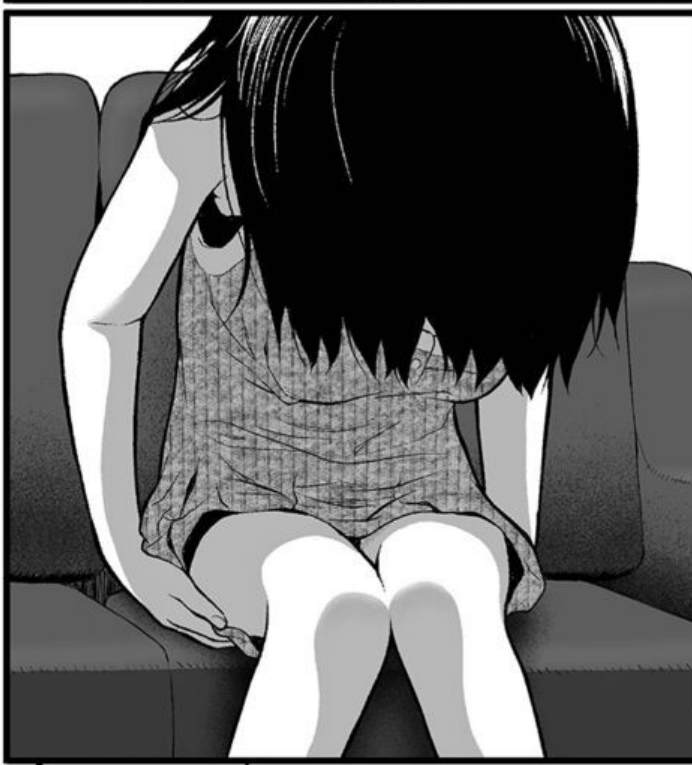
いもろと



今日はパパもママも遅くなりますけど…



もうじきお姉ちゃん帰ってきますから



なら唯ちゃん少しお喋りできるね



よかった唯ちゃんのこと考えて選んだから

あの…お借りした本面白かったです





じ...自分で
するのは...
ちよつと...怖くて

...ごめん...なさい

カリッ

カリッ



この可愛いカラダの
いじりかた
すっかり
覚えてくれたよね

カリッ



謝らないで
唯ちゃん

...本当はこんなの
しちゃ駄目なのよね

ワニワニ

フニ...

あ…っ
嫌じゃ…

ないです…けど



悪いのは
唯ちゃんじゃないよ…

千ロ…ッ



お姉ちゃんに…悪いし





唯ちゃん…
好きだ…っ



お姉さんより先に
唯ちゃんに会えて…

こう…できてれば
よかったのに…

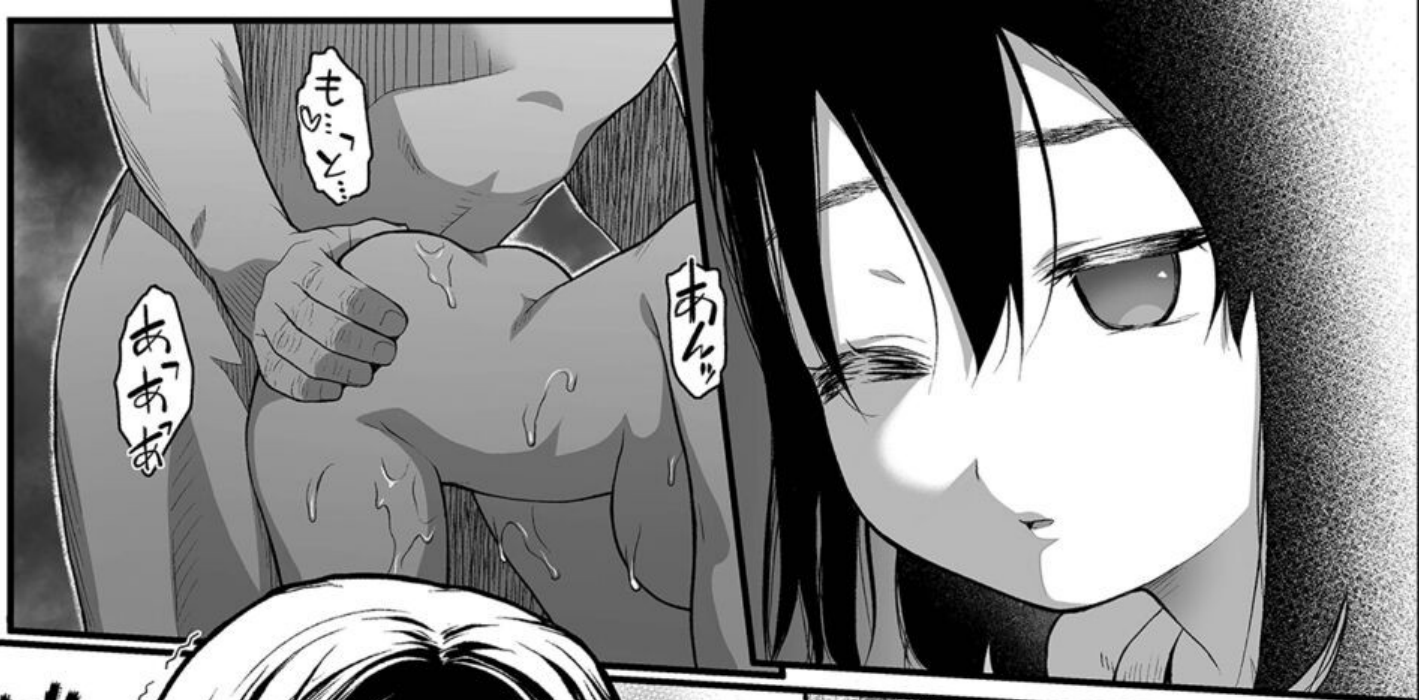


あ…ふ

…あ







お姉ちゃんに
渡したくない...

い...や...

キ...ン...



わたしのほうが
可愛いって
言ってくれるもん…



は…♡

は…♡

は…♡

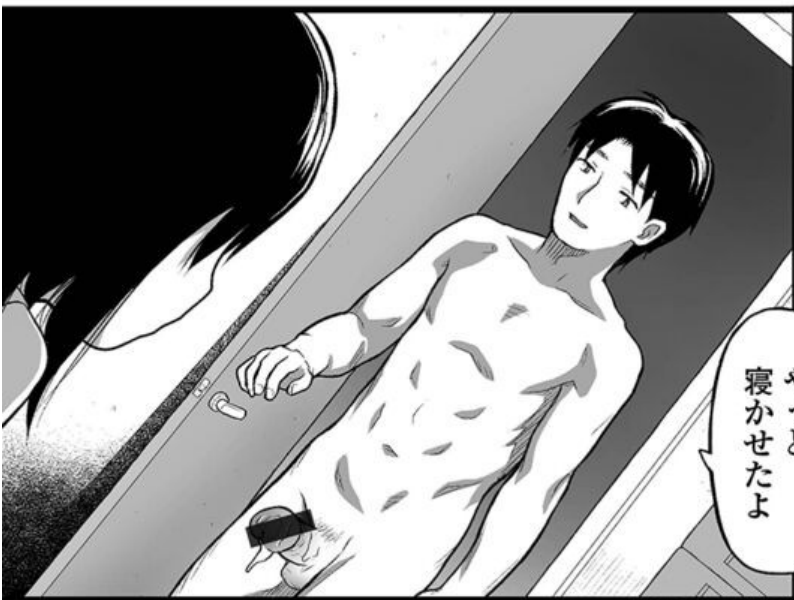
は…♡

は…♡

は…♡

は…♡

は…♡



やっと
寝かせたよ



キ...



はい...

いつもみたいに
してくれる？



ま...



わたしなら...
お姉ちゃんより
気持ちよく
できるんだから...



早く唯ちゃんが
欲しいよ

限界だ…



は…はい♡



こんなに狭いのにしっかり啜えて...

へーろ...

やっぱり...唯ちゃんじゃないと駄目だよ



お姉ちゃんじゃなく
わたしを...

あゝあゝ

♡♡♡
♡♡♡
♡♡♡

♡♡♡
♡♡♡
♡♡♡

うれし...し...♡♡



あゝあゝ



あゝあゝ

あゝあゝ...



は...

あ...

クニッ

クニッ

今日もあと
3回はするからね



ボク

は...ひい...♡



わたし...も
この人...だけ...♡



クニッ クニッ クニッ クニッ クニッ クニッ

クラスのお友達と
お花見に行くことにな
りました

想像以上の景色で
驚きです



あまり人出のない場所で
穴場なんだそうです



お花見

そこでお会いした
親切なお兄さんに
お菓子をふるまっ
ていただいたり…





放して
ください

……こんなこと
やめてください……

誰にも
言いませんから……



……口止めに
お前から先に
やっておくか



叫んでも誰も
来ないから

痛い目
見たくないなら
静かにしとけ



お前
あのコーヒー飲んで
なかったのか？

え……あ……
あの……

……コーヒーは
飲めないのです……

う…そ

こんな…の

どうしたら…

…ッ

…あつ
あの…ッ

わたしが…
っ…お相手
しますから

…へえ

友達には
何もしないで
ください



自分で
言い出したんなら
協力的になれよ



え…

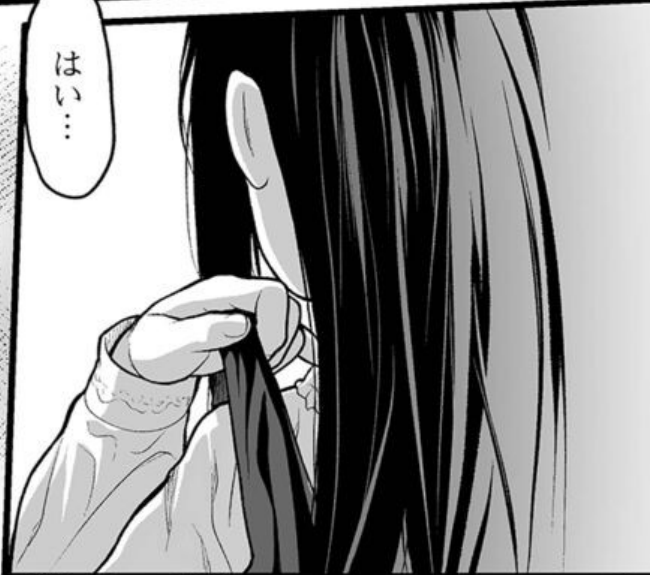
じゃあ
さっさと全部
脱ぎな



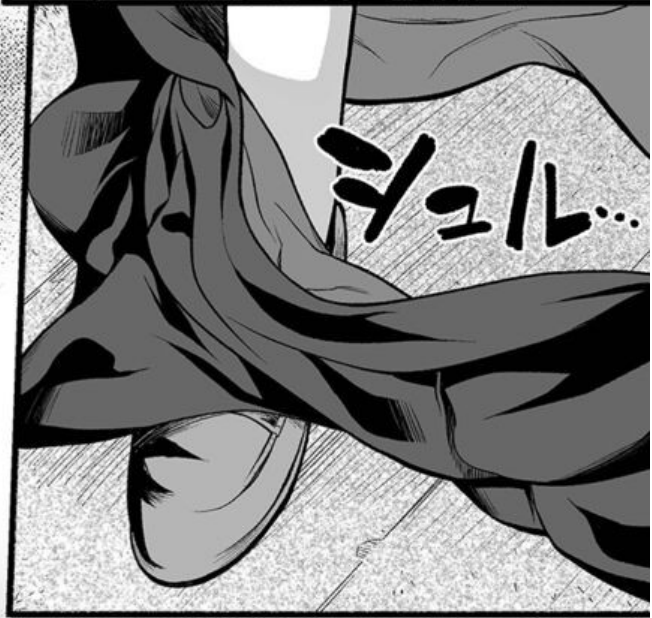
わたしが…
我慢すれば…



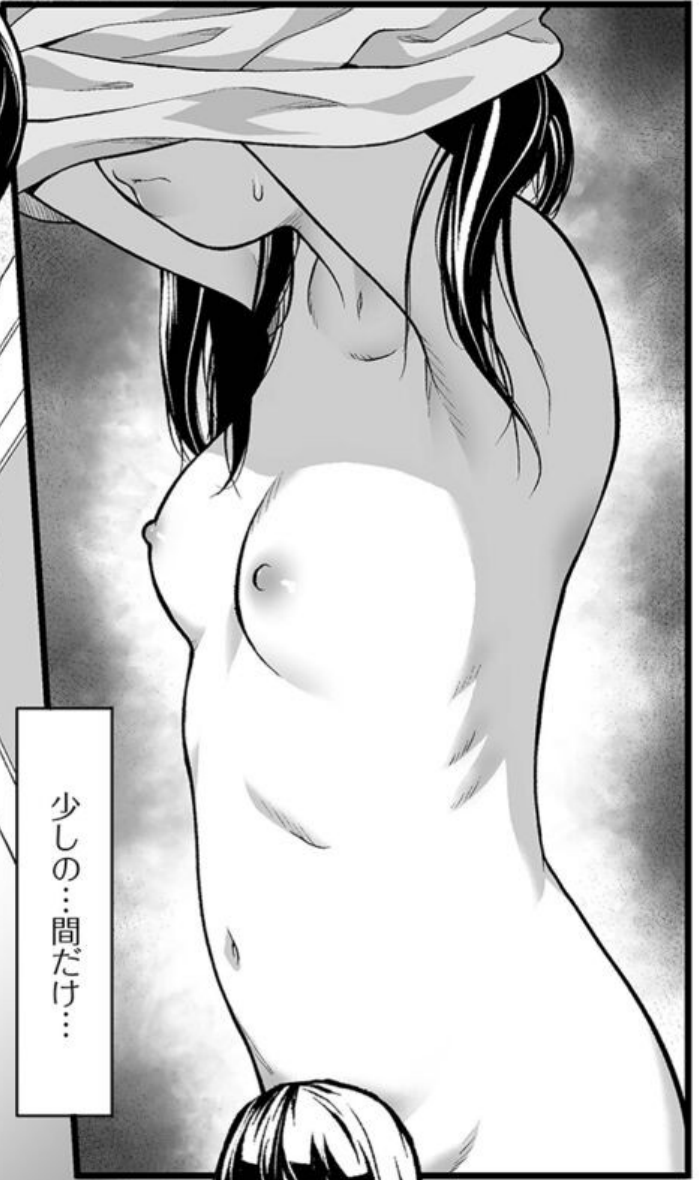
……



はい…



フユル…



少しの…間だけ…



…これで
よろしいんですか



みんなが同じ目に...

ん...
ん...

い...
や

う...
う...

我慢...しないと...



やっぱり
寝てる相手とは
違うな

え…

ゴキブリ…

は…

は…

は…



次はそつちから
してみる

ま
や
…
?

刷


毛




寝てるやつ
の口に突っ込むのも
物足りないしな

……ッ


ど…どうすれば
よろしいんですか…



ほら
言ったとおりに
してみろ



こんな…熱く…



は
たしか…ここは
とても敏感
なんですよね



そっと…やさしく



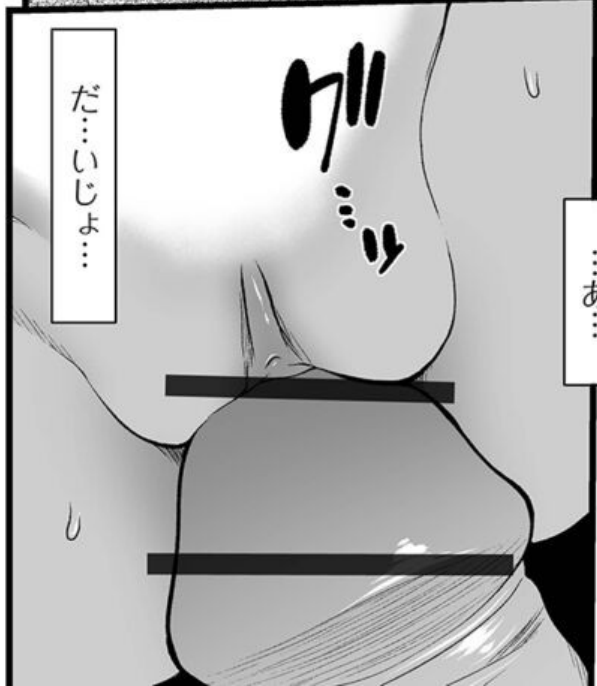
ちゅっ…



もっと激しく
やるんだよ



わたしが...
やらないと





引きずり…
だされ…る

いつ…あ…





…満足されるまで
わたしが…

おつきあい…
します…から

まっ…て…
ください



へえ…

なら
遠慮なしだ



丁寧に舐めとれよ

また大きくしたら挿れるんだ



ご...うですか...っ

ちゃんと動きに合わせろ

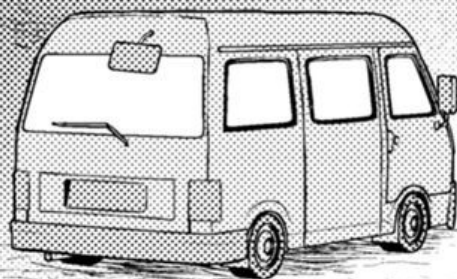






☆ スト ヴァージン

へー
初デートに
行くところだったの



それで
おめかししてたんだー



ちょっと静かに
してたらねー

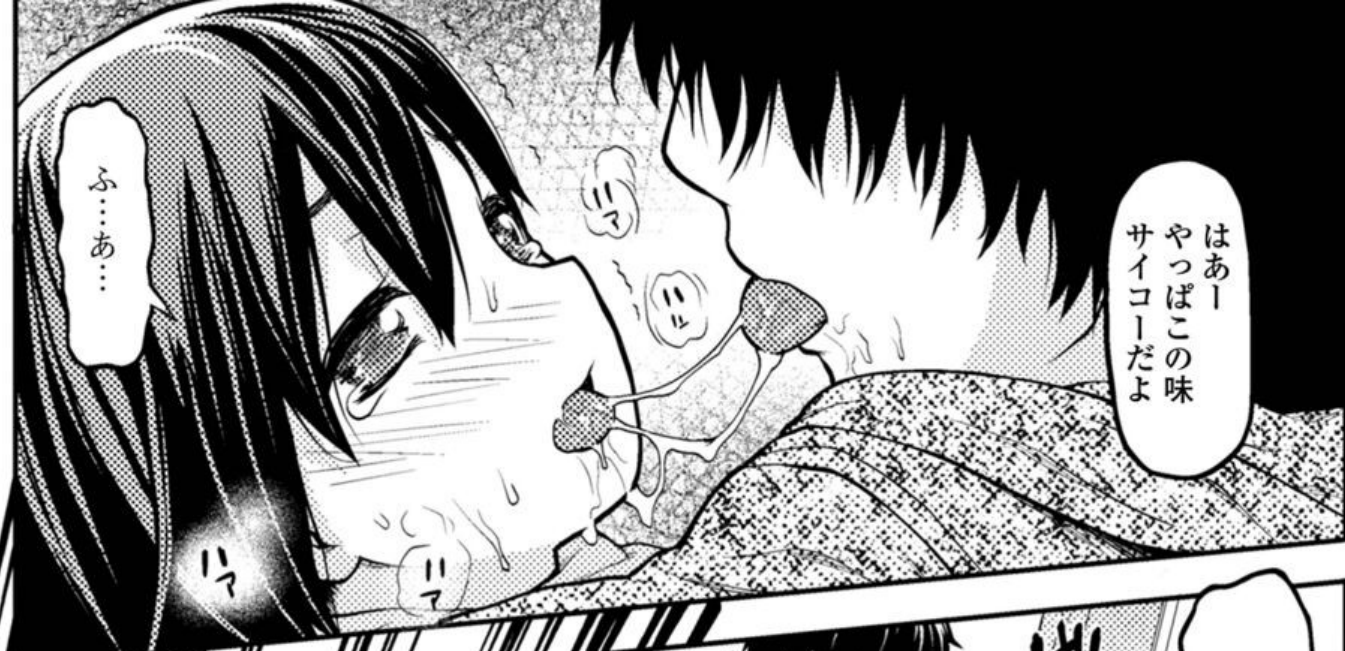
ぐわっ...

えーと
ユカちゃん

本当に...すぐ帰して
くれるんですか...?







ふ...あ...

はあー
やっぱこの味
サイコーだよ



やだ...
ヒロくん...助けて...

んーカレシ?



それじゃ
記念すべき
一番乗りを...

え...



こんな美味しいもの
ガキに譲るのは
勿体ないよねー

あ...っ

は...





大丈夫だよ
ユカちゃん

こうやって君が
エッチな子になれば
カレシも喜ぶって

いや...あ
やめて...ください



だからこの機会に
いっぱい経験
しちゃおうねー



そろそろ
ユカちゃんが
エッチになれる
お薬あげるよー

え...あ...?



君が最初に覚える
ザーメンの味は
俺のだからね！



オ...オ...



ユカちゃんには
まだまだ初体験
させてあげるね！



や……
ヒロくん

あー
初物フルコース
いただきましたー

他のやつに
食われちゃう前で
良かったよ

中古には興味ないんで
あとは好きだけ
カレシとイチャついてねー

END